

2022年7月21日

報道関係各位

GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

## 「電子印鑑 GMO サイン」の『対面契約』がより簡単・便利に ～店舗や訪問等での対面契約・申込内容をその場で電子化！データ連携も可能に～

GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社（代表取締役社長：青山満 以下、GMO グローバルサイン・HD）は、当社が開発・運営する電子契約サービス「電子印鑑 GMO サイン」（以下、GMO サイン）において、『GMO サイン対面契約』オプションをアップデートし、本日2022年7月21日（木）より提供を開始することをお知らせいたします。

これにより、契約締結内容や各種申込書類をその場で電子化できるようになるほか、データ連携機能と組み合わせることで、入力したデータの転記や再入力などの手間を省略することが可能になり、対面での契約・申込が必要となる幅広い業界において業務効率化や利便性向上に大きく貢献します。



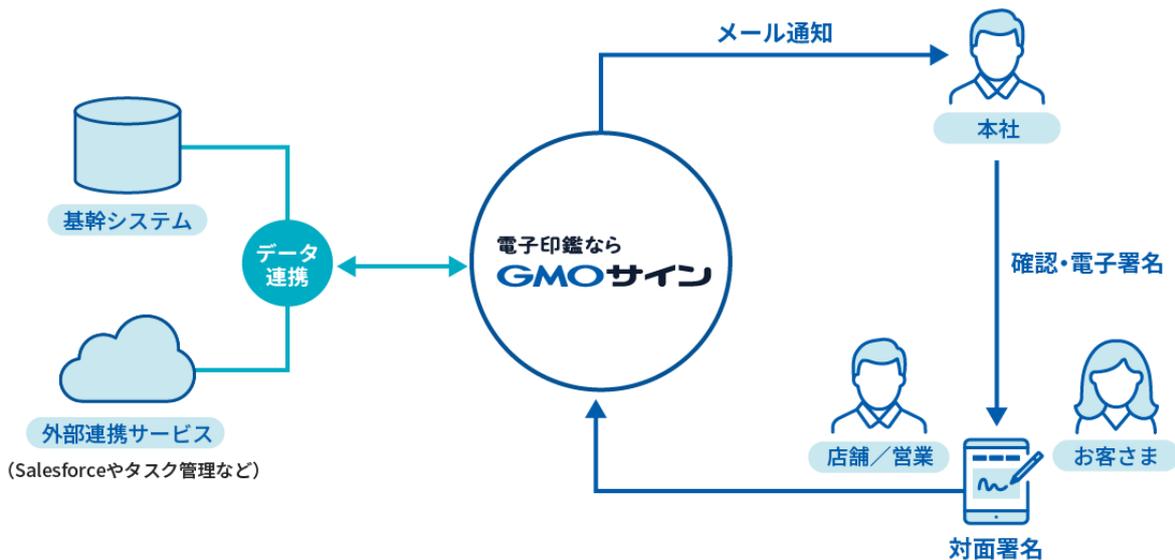
GMO グローバルサイン・HD は、『GMO サイン対面契約』の提供を通じて、デスクワークのみならず、実店舗や訪問等の業務における業務効率化やペーパーレス化を支援することで、対面での経済活動も支援するとともに、SDGs の積極的な推進を行なってまいります。



## 【『GMOサイン対面契約』の概要】（URL：<https://www.gmosign.com/lp/facetoface/>）

『GMOサイン対面契約』は、対面によるお申し込みや契約をタブレットのみで完結することができる、「GMOサイン」のオプションサービスです。「GMOサイン」の通常機能に加え、対面での契約・お申し込み等に便利な本人確認機能等をセットにしています。特殊な専用端末を購入せずとも、市販のタブレット端末上で使用できることから、コストや操作性に優れています。

タブレット上で必要事項を記入し、手書きでサインをすることで、契約内容や申込内容を自動で「GMOサイン」上に保管することができ、リアルタイムでデータ化できるようになるため、顧客リストの作成や分析にご活用いただけます。



## 【『GMOサイン対面契約』でできること】

01

紙からの転記不要  
作業の効率化・コスト削減



お申込みや契約をタブレット端末のみで完結できるので、郵送や保管・管理にかかる手間やコストを大幅に削減できます。また、タブレット端末に手書きで記入した情報は自動でデータ化されるので、事務作業を効率化し、入力ミスなども防ぐことができます。

02

お申込み情報を、  
そのままデータ化



対面によるお申込みや契約は、タブレット端末に入力後そのままデータ化されます。蓄積されたデータは、顧客リストの作成や分析にご活用いただけます。

03

すべての契約を  
電子印鑑GMOサインで一元管理  
契約の検索・管理を効率的に



対面によるお申込みや契約データは、電子印鑑GMOサイン上で対面以外の電子契約データや、PDF化した紙の契約データと一緒に一元管理することができます。そのため、契約データの効率的な管理が可能になります。

04

対面契約スタンダード

署名時に本人確認書類の  
画像を添付  
本人確認性を強化



署名する際に、身分証明書など本人確認書類の画像を添付することができます。相手方に運転免許証などの本人確認書類の画像を添付してもらうことで本人性を強化することができます。

05

対面契約プロ

手書きサインの筆圧や、  
ストローク情報も取得可能



金融機関をはじめ、大手民間企業などへ多くの導入実績を有するスカイコムの「SkyPDF WebAPI」を採用しています。手書きサインは筆圧※やストローク情報等、本人特定に有用な付随情報を保持することが可能であり、サイン画像は筆跡鑑定に耐える仕様のためより真正性の高い文章を作成できます。

※筆圧はご利用のデバイスにより取得できない場合がございます。

## 【選べる2つの機能】

『GMOサイン対面契約』では、従来機能を『GMOサイン対面契約プロ』として継続提供するとともに、新たに『GMOサイン対面契約スタンダード』の提供を開始し、契約内容や業務フローに応じて機能を選べるようになりました。

『GMOサイン対面契約スタンダード』では、対面契約で使用する文書やテンプレート作成が従来よりも簡単になり、各種サービス連携やワークフロー設定がご利用いただけるようになりました。また、本人確認に使える身分証や、施工現場の状況がわかる写真などを添付できる画像添付機能も備えているため、対面と非対面を組み合わせ、これまで以上に幅広い契約・申込のシーンでご利用いただけます。

『GMOサイン対面契約プロ』『GMOサイン対面契約スタンダード』ともに、幅広い業種・規模のお客さまにご利用いただけるよう、電子契約業界ではトップクラスの低価格帯でご提供しております。

料金等の詳細は公式サイト (<https://www.gmosign.com/lp/facetoface/>) をご覧ください。

## 【利用シーン（一例）】

■ 申し込み・売買契約・雇用契約まで、業種や規模を問わず、さまざまなシーンの対面契約でご利用可能



フィットネスクラブの申し込み



リフォームの申し込み



結婚式場の申し込み



飲食店での雇用契約



保険の申し込み



自動車販売

## 【「電子印鑑 GMO サイン」について】（URL：<https://www.gmosign.com/>）

契約の締結から管理までをワンストップで行えるクラウド型の電子契約サービスです。印紙税や郵送費の削減、契約締結にかかる手間の軽減や時間の大幅な短縮により、業務の効率化を実現することが可能です。

国内向けに提供されている各種電子契約サービスの中で、「メールアドレス等により認証を行う事業者署名型」（電子署名タイプ）と、「電子認証局による厳格な本人認証を行う当事者署名型」（身元確認済み高度電子署名タイプ）のハイブリッド契約にも対応している数少ない電子契約サービスです。また、導入企業数は2022年5月で140万社を超え、国内電子契約サービスにおける導入企業数 No.1<sup>(※)</sup> となっています。

(※) 「電子印鑑 GMO サイン」（OEM 商材含む）を利用した事業者数（企業または個人）。1事業者内のユーザーが複数利用している場合は1カウントとする。契約社は70万社（複数アカウントをご利用の場合、重複は排除）。2022年6月末自社調べ（国内主要電子契約サービスの公表数値を比較）

## 【「GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社」について】

11万社の法人のサーバー運用実績、国内販売代理店 約 6,800 社の販売代理店を有するホスティング事業者であり、世界で 5 社しかないグローバルでシェアを持つ電子認証局の中で唯一の国産認証局「GlobalSign」を保有。政府関連機関・大手企業をはじめ世界各国の企業・団体に電子証明書を導入しています。

### あらゆるインターネットサービスへ電子証明書を提供



長年にわたる  
運用実績



グローバルで  
シェアを持つ認証局



Google  
Microsoft  
mozilla  
CORPORATION



DocuSign

Adobe Sign

以上

#### 【報道関係お問い合わせ先】

- GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社  
社長室 広報担当 大月・遠藤  
TEL : 03-6415-6100 E-mail : [pr@gmogshd.com](mailto:pr@gmogshd.com)
- GMO インターネット株式会社  
グループコミュニケーション部 広報担当 寺山  
TEL : 03-5456-2695 E-mail : [pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

#### 【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社  
「電子印鑑 GMO サイン」運営事務局  
TEL : 03-6415-7444 お問い合わせフォーム :  
<https://www.gmosign.com/form/>

#### 【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】 (URL : <https://www.gmogshd.com/>)

会社名	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社 (東証プライム 証券コード : 3788)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 青山 満
事業内容	■電子認証・印鑑事業 ■クラウドインフラ事業 ■DX 事業
資本金	9 億 1,690 万円

#### 【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資本金	50 億円